

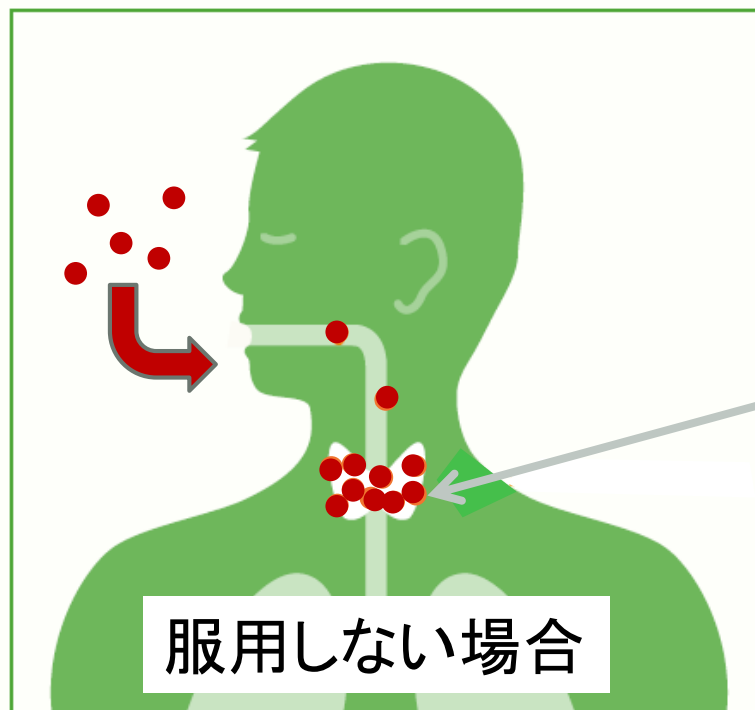


安定ヨウ素剤事前配布説明会

安定ヨウ素剤について

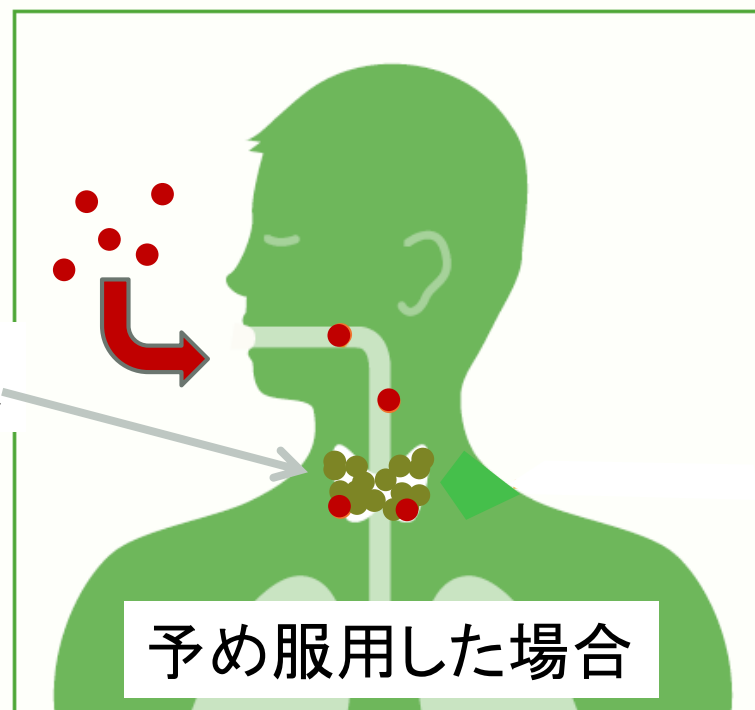
安定ヨウ素剤の働きと効果

放射性ヨウ素を吸入する24時間前から吸入した8時間以内に安定ヨウ素剤を服用することで、体内に入ってきた放射性ヨウ素が甲状腺に蓄積する量を減らすことが可能

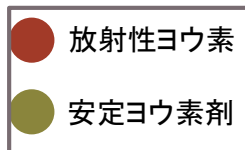


放射性ヨウ素が体内に取り込まれると、甲状腺に蓄積し、甲状腺がん発症の可能性が出てきます。

甲状腺



あらかじめ安定ヨウ素剤で甲状腺を満たし、放射性ヨウ素の蓄積を減らすことができます。



安定ヨウ素剤の服用方法

[服用時期]

- 効果のある時期について、国もしくは県・村からの指示がありますので、その指示に従い服用ください。それ以外は、絶対に服用しないでください。



安定ヨウ素剤 丸薬 写真提供：日医工

[服用量]

- 中学生以上 丸剤2丸
- 3歳～小学生 丸剤1丸
- 3歳未満 ゼリー剤1包

服用回数は、原則1回です。



安定ヨウ素剤 ゼリー剤 写真提供：日医工 3—3

副作用について

[副作用として報告されている症例]

- 過敏症
 - ・・・発疹 など
- 消化器系の症状
 - ・・・悪心・嘔吐，胃痛，下痢，口腔・咽喉の灼熱感，金属味覚，歯痛，歯肉痛，血便（消化管出血） など
- その他の症状
 - ・・・甲状腺機能低下症，頭痛，息切れ，かぜ症状，不規則性心拍，皮疹，原因不明の発熱，首・咽喉の腫脹 など

安定ヨウ素剤を服用できない人(禁忌)

安定ヨウ素剤の成分、またはヨウ素に対し、過敏症の既往歴のある方



問診票の以下の項目の「はい」の欄にチェック

【服用不適項目】

今までに安定ヨウ素剤の成分、または、ヨウ素に対し過敏症があると言われたことがありますか？

(ポピドンヨード液(うがい薬に含まれます)及びルゴール液使用後、並びにヨウ化カリウム丸服用後に、じんま疹や呼吸困難や血圧低下などのアレルギー反応を経験したことがありますか)

➡ 服用できない方は、一般住民より早い段階(施設敷地緊急事態)で、早期に避難していただくこととなります。

慎重に服用する必要がある人

安定ヨウ素剤により症状が悪化する方

下記の病気にかかっている場合は、慎重に服用する必要があります。
かかっている場合は、問診票の下記の項目の当該病気欄の「はい」の欄に
チェックのうえ、後ほど相談ください。

- (1) ヨード造影剤過敏症の既往歴のある方
- (2) 甲状腺の病気（甲状腺機能亢進症、機能低下症）の方
- (3) 腎臓の病気にかかっている方、腎機能に障害のある方
- (4) 先天性筋強直症の方
- (5) 高カリウム血症の方
- (6) 低補体血症性蕁麻疹様血管炎の方または既往歴のある方
- (7) 肺結核（カリエス、肋膜炎などを含む）の方
- (8) ジューリング疱疹状皮膚炎の方または既往歴のある方

安定ヨウ素剤と併用に注意する薬剤を服用されている方

下記の薬を服用している方は、併用により健康影響が懸念されるので、問診票の以下の項目の該当する薬の「□」にチェックのうえ、後ほどご相談ください。

該当するかわからない場合、保健師、薬剤師にご相談ください。

お薬手帳をお持ちの方は
ご確認ください



- (1) カリウム含有製剤(カリウム補給)
- (2) リチウム製剤(双極性障害(躁うつ病)治療)
- (3) 甲状腺治療薬(甲状腺機能亢進症または甲状腺機能低下症治療)
- (4) アンギオテンシンⅡ阻害剤、カリウム貯留性利尿剤、降圧剤(配合剤)、ACE阻害剤(高血圧治療)

妊娠している方、授乳婦の方




- 🥚 妊娠している方は、原則として、安定ヨウ素剤の服用対象です。
- 🥚 妊娠している方が安定ヨウ素剤を服用した場合、胎児に影響を及ぼす可能性がありますので、複数回の服用は避けてください。
- 🥚 授乳中の婦人には、安定ヨウ素剤服用中及び服用後一定期間（概ね3日程度）は授乳（母乳）を避けていただく必要があります。

注) 3歳未満の乳幼児は、一般住民より早い段階（施設敷地緊急事態）で保護者と一緒に早期に避難いただきます。


(平成31年3月29日報告)

原子力規制委員会「安定ヨウ素剤の服用等に関する検討チーム」 の提言

服用を優先すべき対象者

-  年齢が低いほど放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくの影響として甲状腺がん発症のリスクが高くなることから、妊婦・授乳婦・新生児・乳幼児・小児は、安定ヨウ素剤を服用することによる副作用のリスクよりも、服用しないことによる甲状腺の内部被ばくのリスクの観点から、安定ヨウ素剤の服用を最優先すべき対象者である。

40歳以上の方への効果

-  事前配布の対象区域において、対象者は原則として40歳未満の方と、40歳以上であっても妊婦、授乳婦及び事前配布の時点で挙児希望のある女性を優先とすることが適当である。ただし、安定ヨウ素剤の供給が十分であることを前提として、40歳以上であっても希望者には事前配布をすることとし、緊急配布では年齢にかかわらず配布対象としてもよい。

本日、安定ヨウ素剤を受け取った方へ

- 🍳 配布後、服用不適項目または慎重投与項目に該当するようになった場合は、あらためて、医師に相談してください。

